

# 平成25年度 事業報告

## I 継続事業

### 2. 国際協力事業

#### ① JICA地域別研修「アフリカ地域農産品加工による村落生計向上/TICADIVフォローアップ」 コース研修員受入事業

＜5月15日（水）～6月29日（土） 46日間 於：滝川市内外＞

今年度3年目を迎えた本事業は、アフリカ6ヵ国（エリトリア、マラウイ、ナイジェリア、ルワンダ、スーダン、ザンビア）より9名の研修員を受け入れ、元北海道農業改良普及員 峯岸 三枝子氏の指導のもと、食品加工の基礎から学ぶと共に、(株) マツオ、深川東高校、江部乙農産物加工研究会手作りの家とまと、國學院大學北海道短期大学部、(有)大橋さくらんぼ園等で実習・視察等を行った他、元北海道農業改良普及員 木下 初子氏や市内農家の中原 タカ氏、近野 はつ子氏からも加工に関する熟練された技術と知識をご教授いただいた。



また6月8日（土）には5家庭でホームビジットを行い、市民との交流も図った。

（当協会受託研修期間は、5月20日（月）～6月27日（木）までの39日間）

受入人数：10名（研修員9名、随員1名）

○ 送別会：6月27日（木） 於：ホテルスエヒロ

参加者数：43名（子ども9名、大人26名、外国人8名）

#### ② 「自治体職員協力交流事業（LGOTP）」支援

＜5月19日（日）～11月3日（日） 169日間 於：滝川市内外＞

（財）自治体国際化協会（CLAIR）が実施するLGOTPを活用し、滝川市が進めるモンゴル国からの農業技術研修員2名の受け入れを、当協会が支援した。

（上記日数のうち、5月23日（木）～6月20日（木）は、滋賀県大津市にある全国市町村国際文化研修所（JIAM）での日本語研修期間）

研修員名（1）モンゴル国ウブスハンガイ県ハラホリン村役場

農産物栽培・中小企業担当者 ダワーサンブー・ゲネンドウラム氏

（2）モンゴル国ウブスハンガイ県トゥグルグ村役場

農産物栽培・中小企業・組合担当専門家 ナムジルスレン・アルタンツェツェグ氏

○ JICAモザンビーク研修員合同歓迎会 6月21日（金） 於：マツオジンギスカン本店

参加者数：54名（大人36名、外国人14名、ボランティア4名）

○ 最終報告会並びに送別会 10月30日（水） 於：ホテルスエヒロ

参加者数：37名（最終報告会）、29名（送別会）

#### ③ JICAモザンビーク国別研修「農村振興」コース研修員受入事業

＜6月12日（水）～7月10日（水） 29日間 於：滝川市内外＞

今年度3年目を迎えた本事業は、モザンビーク国の農業改良普及員8名を受け入れ、空知土地改良区、空知農業改良普及センター中空知支所、新十津川農業高校、中央農業試験場遺伝資源部、ホクレン滝川種苗生産センター、滝川地方卸売市場（株）、中村果樹園、(有)大橋さくらんぼ園、中空知農業共済組合、ノザワ農場、たきかわ農業協同組合、花・野菜技術センター、江部乙農産物加工研究会手作りの家とまと、拓殖大学北海道短期大学、中村農園等で研修を実施した他、元北海道農業改良普及員 峯岸 三枝子氏、丸岡 孔一氏からはグループの設立や作物の生育調査等、普及員としての活動、近野 はつ子氏、中原 タカ氏からは農産物の加工について学んだ。



（当協会受託期間は6月14日（金）から7月9日（火）までの26日間）

受入人数：9名（研修員8名、随員1名）

- LGOTPモンゴル研修員合同歓迎会 6月21日（金） 於：マツオジギスカン本店  
参加者数：54名（大人36名、外国人14名、ボランティア4名）

#### ④ JICA集団研修「農民参加による農業農村開発（A）」コース研修員受入事業

＜8月12日（月）～9月21日（土） 41日間 於：滝川市内外＞

昨年度から始まった本事業では、JICAベトナム事務所からの強い要望で、林業関連職員1名と国立公園職員1名を含む8名のベトナム国の研修員を受け入れ、たきかわ農業協同組合、中空知農業共済組合、中央農業試験場遺伝資源部、空知総合振興局調整課、空知土地改良区、空知農業改良普及センター中空知支所、拓殖大学北海道短期大学、中村農園、花・野菜技術センター、中野ふあ〜む、（有）ホリタック、国稀酒造（株）、（株）キョクイチ、日本醤油工業（株）、森林研究本部林産試験場、空知総合振興局森林室砂川事務所、仲西ファーム、暑寒の森道づくり研究所、ノザワ農場で研修を実施し、農村開発等について学んだ。



また、滝川市内農業経営者 住友 守氏、今 昌子氏からは農作物の加工技術、元北海道農業改良普及員 峯岸 三枝子氏からは女性グループの創立、丸岡 孔一氏からは作物生育調査の手法についてそれぞれ知識を深めた。

（当協会受託期間は8月16日（金）～9月20日（金）までの36日間）

受入人数：9名（研修員8名、随員1名）

- 滝川市CIR・滝川市ALT合同歓迎会：8月23日（金） 於：マツオジギスカン本店  
参加者数：42名（子ども1名、大人32名、外国人9名）

※滝川市CIRローレル・テイラー氏、呉 玲氏

滝川市ALTエマ・マックレーン氏、マーク・ショーセツ氏、キャロライン・ノエル氏

#### ⑤ 第5回ベトナム・カンボジアスタディーツアー

＜平成26年1月 5日（日）～1月12日（日） 8日間 於：ベトナム国、カンボジア国＞

例年滝川高校「カンボジアゆめプロジェクト」と連携し、滝川高校生徒の参加を得て実施しているが、本年度は、初めて滝川西高校の生徒も参加した。

発展著しいベトナム国では、「JICA青年海外協力隊員活動現場」、「ツーザー病院平和村」、「戦争証跡博物館」等を訪れ、今なお残るベトナム戦争の傷跡や国が抱える社会的な問題について学んだ。



カンボジア国シェムリアップ市では、「日本地雷処理を支援する会（<sup>ジェイマス</sup>JMAS）」が実際に地雷や不発弾を処理する現場を見学した他、滝川高校OGで元青年海外協力隊員の田中 千草氏が学校長補佐を務める「ワット・ボー小学校」で子どもたちと楽器演奏やダンスで交流を行った。また、JICA草の根技術協力事業（地域提案型）カンボジア王国シェムリアップ市対象「音楽教育を活用した教員の授業実践力向上プロジェクト」の対象校の1つであるトロー・オンドーン小学校を今年度初めて訪問し、同校に通う子どもたちとカレー作りを通じた交流を行った。

昼食後は、共にカレー作りを行った子どもたちの家庭を田中 千草氏と共に訪問させていただき、日本では考えることのできない生活環境や困難に直面しながらも、毎日を楽しそうに生きる子どもたちの力強さに参加者全員が胸を打たれた。

派遣人数：6名（参加者5名、随員1名）

#### ⑥ JICA草の根技術協力事業（地域提案型）カンボジア王国シェムリアップ市対象「音楽教育を活用した教員の授業実践力向上プロジェクト」事業

＜第5次受入：平成26年1月26日（日）～2月16日（日） 22日間 於：滝川市内＞

第5次派遣：平成25年12月26日（木）～1月4日（土） 10日間

於：カンボジア国シェムリアップ市>

最終受入となる今回は、カンボジア国シェムリアップ市の教育関係者6名が田中 千草氏と共に来滝し、授業実践力向上をめざし、市内幼稚園や小中学校の授業視察を行った。

また、第5次となった派遣事業では市内教育関係者5名が、同プロジェクトで来滝したシェムリアップ市内3校のカンボジア教員の授業視察後に授業反省研修会を開き、アドバイスやフォローアップを行った。

受入人数：7名（教育関係者6名、随同行1名）

- 歓迎会：平成26年1月27日（月） 於：ホテルスエヒロ>  
参加者数：45名（大人39名、高校生6名）
- 送別会：平成26年2月14日（金） 於：ホテルスエヒロ>  
参加者数：38名（大人34名、高校生4名）
- 第5次教育専門家派遣帰国報告会 平成26年1月27日（月） 於：ホテルスエヒロ>  
来場者数：45名（大人39名、高校生6名）

### ⑦ JICA青年研修「アフリカ（英語）職業訓練教育」コース研修員受入事業

<平成26年1月20日（月）～2月6日（木） 18日間 於：滝川市内外>

アフリカ10か国20名の研修員が来滝し、北海道職業訓練支援センター、北海道職業能力開発大学校、北海道理容美容専門学校、住友農園、國學院大學北海道短期大学部、滝川公共職業安定所、滝川工業高校、（一社）中空知地域職業訓練センター協会、北海道障害者職業能力開発校、北日本自動車大学校、北日本精機（株）、滝川西高校で研修を行い、職業訓練教育と人材育成について理解を深めた。

また、25日（土）には市内外10家庭でのホームビジットに参加し、市民との交流を深めた他、1日（土）～2日（日）のEnglish Camp、3日（月）には滝川高校クッキング部との料理教室に参加し、市内外の中高生と交流を深めた。

（当協会受託期間は1月21日（火）～2月4日（火）までの15日間）

受入人数：22名（研修員20名、随同行2名）

- 送別会：平成26年2月4日（火） 於：ホテル三浦華園>  
参加者数：65名（子ども12名、大人33名、外国人20名）



### ⑧ 滝川高校「カンボジアゆめプロジェクト」支援事業

当協会の「ベトナム・カンボジアスタディーツアー」をきっかけに、平成21年度よりカンボジアの子どもたちを支援するために生徒会並びに国際交流部が主体的に進めている滝川高校の「カンボジアゆめプロジェクト」を支援した。

### ⑨ 身近なものによる開発途上国支援

<随時>

企業、団体、個人の皆様より寄付して頂いた書き損じはがき、使用済み切手、インクカートリッジ等を開発途上国支援に役立てた。

<ご寄付頂いたもの>

- |                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| ・使用済みインクカートリッジ（バラ買い832個、重量買3.1kg） | 9,219円 |
| ・使用済み切手（9.5kg）                    | 7,600円 |
| ・使用済みプリペイドカード                     | 5,151枚 |

<10月28日（月） 於：滝川市役所>

2008年から5年間地域住民の皆様や市内小中学校等が回収し、当協会へ寄付いただいた使用済みプリペイドカード5,151枚（約10kg）を北海道ユニセフ協会の常務理事 越田 和子氏と評議員 銀輝氏に初めて来滝頂き、贈呈した。

### ⑩ ダルニー奨学金

（一財）日本国際交流センターが推進する開発途上国の子ども達の就学を支援するダルニー奨学金に賛同し、協会事業としてラオスの子どもを支援した。